

長谷川電機工業 株式会社

電気環境の安全・安心と電気事故ゼロを目指すことで、
持続可能な社会づくりに貢献する



企業の特徴・強み

東北電力との共同研究により開発した「 ω C測定式 デジタル地絡保護継電装置」は感電事故の危険を伴う高圧活線作業を行うことなく、系統構成変化に応じ地絡（漏電）を最適値に自動演算する装置でオンリーワン製品です。また、電気工事開始前に回路が停電状態かどうかを確認する検電器において、低圧から超高圧まで幅広いラインナップを擁し、業界シェアナンバーワンとして電気環境の安全・安心に貢献しています。



オンリーワン企業認定後の取組



経済産業省の進めるスマート保安（電気設備保安業務の高度化）に貢献できる製品としての絶縁監視装置を複数機種開発しました。この装置により、現地に行かなくてもスマートフォン等で遠隔監視が可能となりました。また、検電器や活線接近警報器では新たにBluetoothを利用し、作業チーム内での情報共有化を実現しました。更にスマートフォンやクラウドサーバーとも連携させ、作業状況や機器情報を中央で管理することが可能です。管理者も作業確認が可能となることで、安全性がより高まっています。IEC規格に適合した検電器を開発し、東南アジアを中心とした海外にも製品を販売しています。検電器を普及させて、命を守る。国内のみならず、世界に啓蒙していくことが当社の使命と考え、電気事故ゼロの世界づくりを目指しています。

COMPANY PROFILE

電気の安定供給と感電事故防止の助けとなる検電器、継電器などの開発・製造・販売を行っています。検電器の分野においてはトップメーカーとして、地絡継電器では永年の研究により、多種多様な機器を社会の重要箇所でも利用いただいています。



最新トピックス・アピールポイント

2023年10月にひょうご産業SDGs推進宣言企業の登録を行いました。電気環境の安全と電気事故ゼロを目指すことで、持続可能な社会づくりに貢献します。また、JECA FAIR 2023 製品コンクールで「スマート検電器」が（独）労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所所長賞を受賞しました。大手企業も多い中、受賞できた事は大いに励みとなりました。

第65回、第68回溢澤賞も受賞しました。溢澤賞は電気業界では権威ある賞で、大変光栄に思います。今後も電気環境の安全確保に貢献できるよう努めてまいります。

DATA

所在地	尼崎市潮江5-8-17
従業員数	80名
資本金	4160万円
設立	1971年9月
代表者	代表取締役社長 吉田 洋二郎